

II 市民活躍都市 なのをお目指して

地域資源を活かす「産業づくり」

七尾駅前にぎわい館の整備 [9億1,832万6千円]

まちなかの賑わい創出の核となるパトリアの大規模改修を行いました。主に外壁や内装、電気・給排水・空調設備の更新工事を行いました。



イノシシなどの鳥獣被害対策 [1億2,724万1千円]

作物に被害を与えるイノシシなどの捕獲や埋設、電気柵の購入、狩猟免許取得への助成などを行いました。また、新たに能登島地区に有害鳥獣処理施設を整備しました。

IV 新しい時代を担う「人づくり」

ICTを活用した教育の推進 [4億5,745万4千円]

GIGAスクール構想を実現するため、1人1台のタブレット端末の導入や校内ネットワーク環境の整備を行いました。

公立保育園統合民営化への整備 [1,875万4千円]

旧田鶴浜中学校跡地に田鶴浜地区の公立保育園と私立認定こども園を統合した新しい園舎の整備を行いました。令和4年3月下旬に開園を予定しています。

公営企業以外の特別会計

ケーブルテレビ事業特別会計

歳入総額	4億4,708万9千円
歳出総額	4億4,708万9千円

国民健康保険特別会計

歳入総額	59億7,834万9千円
歳出総額	58億9,356万2千円

後期高齢者医療保険特別会計

歳入総額	8億1,383万4千円
歳出総額	8億1,304万2千円

介護保険特別会計

歳入総額	70億9,029万4千円
歳出総額	70億953万4千円

公設地方卸売市場事業特別会計

歳入総額	7,915万3千円
歳出総額	1億2,307万7千円

※収支で不足している4,392万4千円は、翌年度繰上充用金で補てんしました。

III 人を呼び込む「魅力づくり」

国指定史跡七尾城跡の整備 [8,539万円]

本丸や二の丸、三の丸を巡る遊歩道の柵や階段を新しくしたほか、山麓から本丸まで歩いて登るコースの起点となる七尾城登山口駐車場の整備を行いました。

和倉温泉ウオーターフロントの整備支援 [3,887万円]

(一社)なのお・なかのとDMOが事業主体となり、湯っ足りパークにウッドデッキ遊歩道やベンチを設置し、海の温泉地が感じられる魅力的なスポットとなりました。



V 安心安全で快適な「暮らしづくり」

消防団活動施設の整備 [2,722万7千円]

袖ヶ江分団の車庫詰所を市役所横の駐車場に新築移転しました。



雨水対策の強化 [4,364万8千円]

雨水の浸水対策のため、排水ポンプ車を1台購入しました。

公営企業の特別会計

水道事業会計

収益的収支	収入総額	20億4,953万2千円
	支出総額	18億1,460万5千円
資本的収支	収入総額	2億2,994万4千円
	支出総額	9億6,242万6千円

※資本的収支で不足している7億3,248万2千円は、当年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

下水道事業会計

収益的収支	収入総額	26億2,282万4千円
	支出総額	25億5,997万9千円
資本的収支	収入総額	14億2,939万3千円
	支出総額	24億5,655万1千円

※資本的収支で不足している10億5,090万8千円(翌年度への繰越工事資金23,750千円を除く)は、当年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

病院事業会計

収益的収支	収入総額	106億6,973万7千円
	支出総額	85億8,454万3千円
資本的収支	収入総額	6億387万7千円
	支出総額	11億5,156万7千円

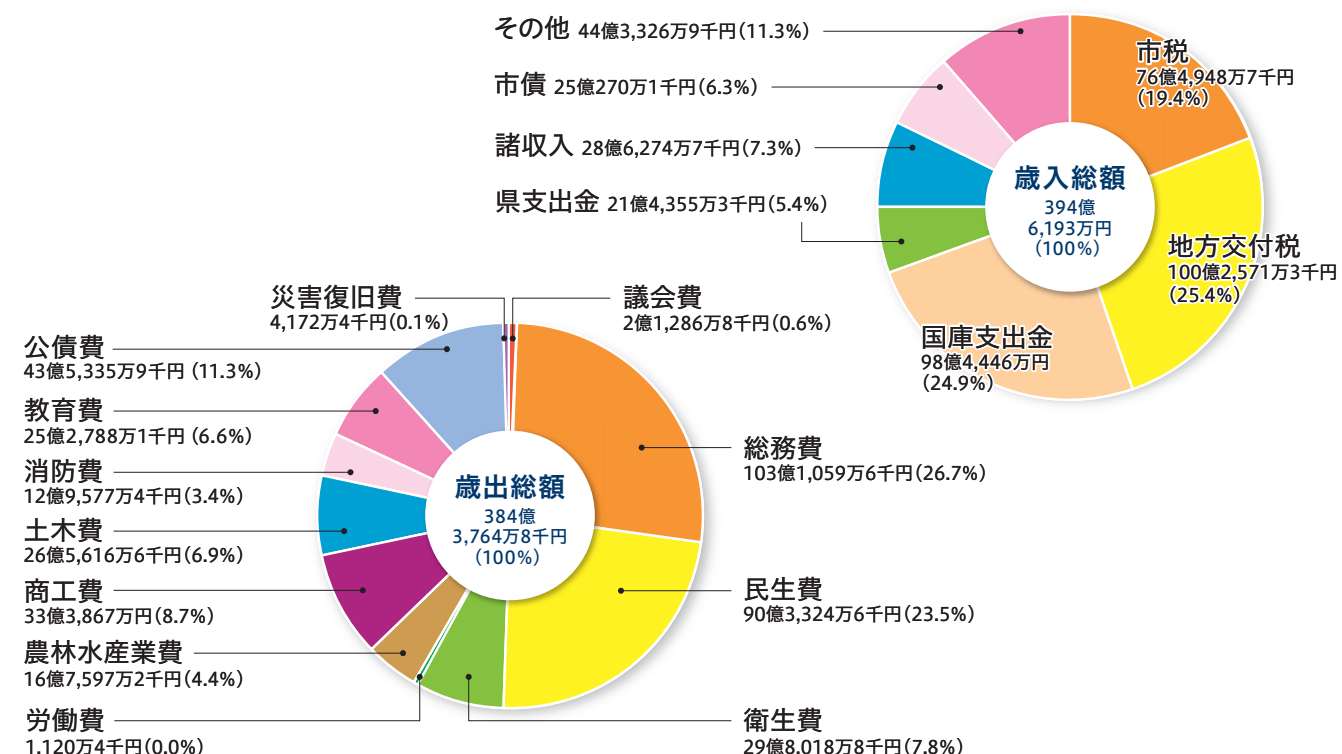
※資本的収支で不足している5億4,769万円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

令和2年度 決算の あらまし

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民の皆さまのくらしや市内経済が深刻な影響を受けました。こうした中、市民生活の安全・安心を守り、感染拡大の防止や市民生活の支援、地域経済の立て直しを図るため、「新しい生活様式」への対応に向けて各施策に積極的に取り組みました。

一般会計の歳入(入ってきたお金)は、394億6,193万円で、歳出(使ったお金)は384億3,764万8千円です。歳入から歳出と令和3年度への繰越金1億3,596万6千円を差し引くと、令和2年度の実質収支は8億8,831万6千円となりました。

一般会計



令和2年度に行った主な事業

I 新型コロナウイルス感染症への対応

感染拡大の防止

新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保

新型コロナウイルスワクチンを市民が円滑に接種できるよう、接種体制の構築や中能登町との共同コールセンターの立ち上げなど、ワクチン接種の準備に取り組みました。

マスクの全戸配布 [7,704万4千円]

感染拡大防止のため、入手困難であったマスク(1箱50枚入り)を確保し、町会や各地域づくり協議会の協力を得て、全戸配布しました。

市民生活と事業活動への支援

特別定額給付金の給付 [51億7,452万8千円]

基準日に住民基本台帳に記録されている人を対象に、1人当たり10万円の特別定額給付金を給付しました。

子育て世帯への給付 [2億4,185万2千円]

国の制度に基づき、児童手当受給世帯には児童1人当たり1万円、さらに市独自に一律2万円を上乗せし、児童扶養手当受給者などの一人親世帯には1世帯当たり5万円を給付しました。また、市独自に新生児に対しては1人当たり10万円を給付しました。

プレミアム商品券の発行 [26億6,814万3千円]

地域における消費喚起と経済循環を図るため、全世帯を対象としたプレミアム商品券(1万2千円分を1万円で購入)を発行しました。

市職員給与などのあらまし

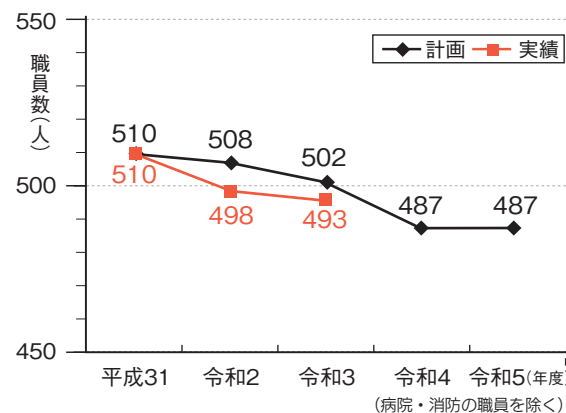
詳細は市ホームページや本庁1階の情報公開コーナーで閲覧できます。

職員数の状況

令和3年4月1日現在の職員数は493人で、病院・消防の職員を含めると1,130人です。おおむね順調に職員の削減が進んでいます。

平成30年度末に策定した第4次定員適正化計画(5カ年)に基づき、職員数の適正化に努めます。

第4次定員適正化計画の進捗状況



職員の期末・勤勉手当 (令和2年度)

支給時期	期末手当	勤勉手当
6月期	1.3月分	0.95月分
12月期	1.25月分	0.95月分
合計	2.55月分	1.9月分

職員の退職手当 (令和3年4月1日)

区分	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分
最高限度額	47.709月分	47.709月分

特別職の給料など (令和3年4月1日現在)

区分	給料月額など	期末手当	
給料	市長	82万8,000円	3.35月分 (令和2年度支給割合)
	副市長	71万4,000円	
議員報酬	議長	52万2,000円	3.35月分 (令和2年度支給割合)
	副議長	45万9,000円	
	議員	43万2,000円	

※特例による減額後の額

問 秘書人事課 ☎53-8465

職員給与の状況 (令和2年度普通会計決算)

○職員数 592人
(総職員数から公営企業等会計部門の職員数を除いた数)

○給与費総額 30億8,872万円 (平均給与費522万円)
※給与費:毎月支給される給料のほか 扶養・住居・通勤などの各種手当と、民間の賞与(ボーナス)にあたる期末・勤勉手当の合計額(退職手当は除く)

職員の初任給 (令和3年4月1日現在)

区分	七尾市	国	
一般行政職	大学卒	18万2,200円	18万2,200円
	高校卒	15万6,000円	15万6,000円
技能労務職	高校卒	14万7,900円	-
	中学卒	13万9,900円	-

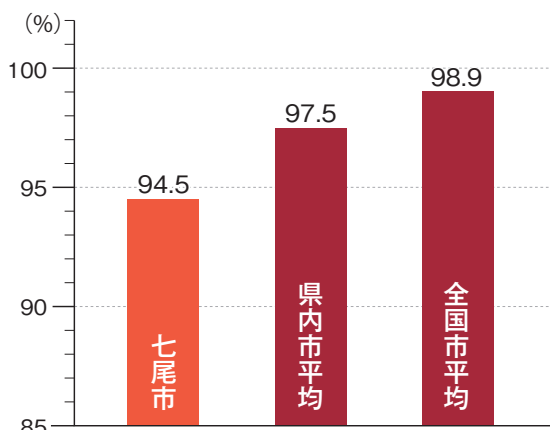
職員の平均給料月額および平均給与月額 (令和3年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	44.8歳	31万7,376円	35万5,858円
技能労務職	54.2歳	27万4,132円	29万6,689円

※「平均給料月額」は、職種ごとの職員の基本給の平均。

※「平均給与月額」は、給料および職員手当(期末・勤勉・退職手当を除く)の合計額の平均。

ラスパイレス指数 (令和2年)



※ラスパイレス指数
国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指標

区分	金額	備考	
退職手当	市長	1,809万4,560円	1期(4年間)勤めた場合の見込額
	副市長	887万1,120円	

目的税の使い道

1. 入湯税	5,329万2千円
環境衛生施設の整備(ごみ処理など)	460万3千円
消防施設などの整備	934万2千円
観光施設の整備	1,549万5千円
観光振興(ソフト事業)	2,269万3千円
源泉施設の管理	115万9千円

2. 都市計画税	4億4,066万4千円
都市計画街路	7,983万6千円
下水道など	3億5,575万円
土地区画整理	507万8千円

3. 消費税	6億6,624万3千円
社会福祉(生活保護、障害福祉など)	4億881万3千円
社会保険(国民健康保険など)	9,166万1千円
保健衛生(医療、感染症対策など)	1億6,576万9千円

基金の状況

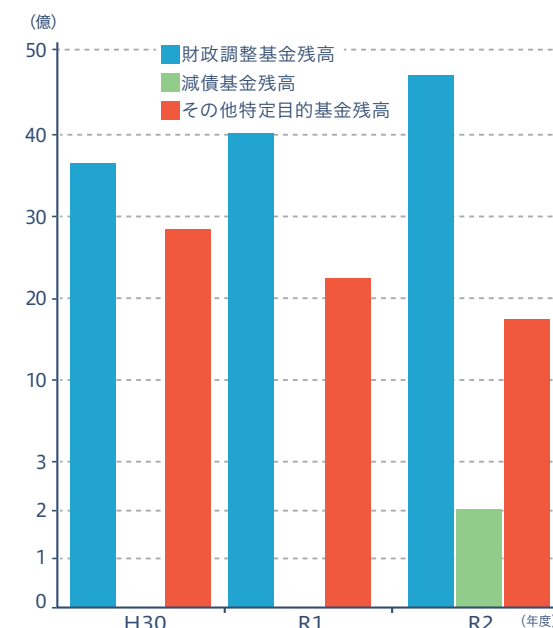
財政調整基金

収入を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるために積み立てているお金

減債基金

市が借り入れたお金の返済を計画的に行うために積み立てているお金

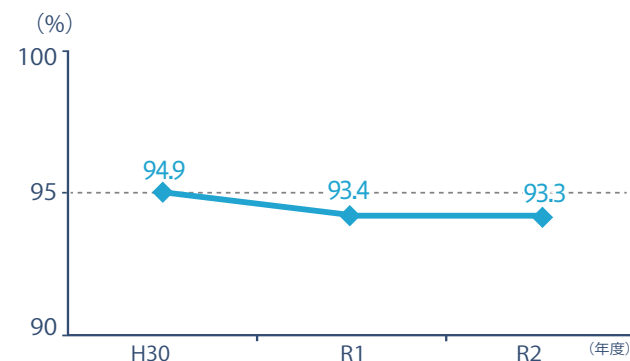
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
財政調整基金残高	37億1,759万9千円	40億6,490万4千円	47億9,227万5千円
減債基金残高	0円	0円	2億円
その他特定目的基金残高	28億9,867万7千円	23億948万2千円	16億6,716万2千円



財政指標の状況

経常収支比率

市の生活費の状況を収入との割合から計る1つの目安で、数値が低いほど財政構造に弾力性があります。
(経常経費充当一般財源/経常一般財源総額)×100(%)



問 企画財政課 ☎53-8455

実質公債費比率

市全体のさまざまな事業における、市のローン返済の状況を計る目安で、数値が低いほど財政構造に弾力性があります。

